

2017年度 児童思春期心理療法セミナー ご案内

「こころの回復力(レジリエンス)の心理臨床
—精神分析からみるこころの成り立ちと自己治癒力—

第1回 平成 29 年 7 月 17 日(月・祝)

松木 邦裕先生 「こころの世界の母と子」

第2回 平成 29 年 9 月 18 日(月・祝)

木部 則雄先生 「家庭崩壊の中の子どもたち」

第3回 平成 29 年 12 月 23 日(土・祝)

鵜飼 奈津子先生 「精神分析的乳児観察の応用

:治療的乳児観察と集団場面における観察」

主催 : 谷町こどもセンター ・ 関西心理センター

〒542-0012 大阪府中央区谷町9丁目3-11 東谷町ビル 3F

Tel 06(6767)6701(代) Fax 06(6767)6702

ホームページ <http://www.kansai-kodomo.jp/>

春陽の候、皆様にはますますご清祥のこととお喜び申し上げます。

本セミナーも、今年で17回目を迎え、「こころの回復力(レジリエンス)の心理臨床—精神分析からみるこころの成り立ちと自己治癒力」のテーマで開催することになりました。

何故、セラピーで治癒が生じるのでしょうか。学派や立場は異なれど、対話や相互交流を中心とする心理療法は、概してクライアントが元々持っている潜在的な自己治癒力を活性化させてセラピーを展開させているように思われます。自己治癒力はレジリエンスという用語で呼ばれ、心の弾力性・回復力とも訳されます。

こころのレジリエンスは、どの程度生得的、環境的な影響を受けているのでしょうか。厳しい養育環境下にある子ども、または外傷をうけた子どものこころの回復・その援助には限界はあるのでしょうか。

それはいかにセラピーで治癒が生じるのかというセラピーの根本とも関連していることと思います。そこで、松木先生には、こころの回復力はどこに、どのようにつくられるかという視点で、木部先生には、離婚や別居という厳しい環境に置かれている子ども達の心をいかにくみとり、援助していくかについて、鶴飼先生には乳児観察の知見がどのように臨床にいかされているのかについて、それぞれ論じて頂きます。

是非、皆様に積極的にご参加いただけますよう、お願いいたします。

谷町こどもセンター・関西心理センター
所長 日下紀子

《プログラム》

〈時間〉: 【受付】 12:00～

【講義】 12:30～14:40 (休憩) 14:40～15:00

【事例検討】 15:00～17:30 (各回事例発表を募集します)

〈会場〉: 各回、会場は異なりますので ご注意下さい。

第1回目:大阪府社会福祉会館 301 (地下鉄谷町線・鶴見緑地線 谷町6丁目駅下車)

第2回目:大阪府社会福祉会館 301 (地下鉄谷町線・鶴見緑地線 谷町6丁目駅下車)

第3回目:大阪府社会福祉会館 403 (地下鉄谷町線・鶴見緑地線 谷町6丁目駅下車)

第1回目 平成 29 年7月17日(月・祝)

大阪府社会福祉会館 301

「こころの世界の母と子」 松木 邦裕先生

病むところが改善するには、私たちのセラピーに加えて、そのところが背景に弾力/復元力を備えていることが治療を推進させます。こころのこのレジリエンスは何処に作られるのでしょうか。この視点から、精神分析臨床に基づくこころの中の母子関係を見ていきたいと思えます。

第2回目 平成 29 年9月18日(月・祝)

大阪府社会福祉会館 301

「家庭崩壊の中の子どもたち」 木部 則雄先生

昨今、離婚や別居が著しく増え、その渦中に子どもたちが置かれている。近頃、しばしば見受けられるのは一緒にいる親の意思に反して、もう片方の親に会いたくてもそれを伝えることのできない子どもたちである。精神分析的アプローチは、こうした子どもの心情をいかに汲み取り、援助に役立つかを論じる。

第3回目 平成 29 年 12 月 23 日(土・祝)

大阪府社会福祉会館 403

「精神分析的乳児観察の応用: 治療的乳児観察と集団場面における観察」

鵜飼 奈津子 先生

乳児観察は、子どもの精神分析的心理療法士のみならず、成人の精神分析的心理療法士や精神分析家の養成、一般診療医や保健師、看護師、教師やソーシャルワーカー等の卒後訓練にも幅広く取り入れられています。また、これを治療的・予防的に応用する取り組みも広がっています。今回は、乳児観察の体験が、最早期の母子関係について理論を越えて深く体験的に学ぶことのできる機会であること、そしてそれがどのように臨床に活かされるのか、事例や調査・研究からの知見を紹介したいと思います。

【参考文献】C.アーウィン&J.スターンバーグ編著「乳児観察と調査・研究」(2015)創元社

《講師紹介》

松木 邦裕 先生：精神分析オフィス・京都大学名誉教授
(精神分析家、精神科医、臨床心理士、日本精神分析学会認定スーパーヴァイザー)

木部 則雄 先生：こども・思春期メンタルクリニック／白百合女子大学文学部児童文化学科発達心理学専攻教授。(精神科医、臨床心理士)

鵜飼 奈津子 先生：大阪経済大学人間科学部教授、同心理臨床センター長
(臨床心理士、日本精神分析学会認定心理療法士)

申し込み方法

《対象》 臨床心理士、精神科医、小児科医、その他医療・教育・福祉等で臨床に携わっておられる職種、あるいは現在、心理臨床を学んでいる大学院生で守秘義務を遵守できる方。

《定員》 100名

《受講料》 一般 全3回 21,000円 (1回: 9,000円 / 2回: 18,000円)

院生 全3回 18,000円 (1回: 7,000円 / 2回: 14,000円)

《申し込み・お振り込み期限》

第1回から もしくは 第1回のみご参加の方 6月30日(金)まで

第2回以降 もしくは 第2回のみご参加の方 8月31日(木)まで

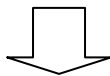
第3回のみご参加の方 11月30日(木)まで

※ 但し振り込みを確認した時点で先着順に受講者とさせていただきます。

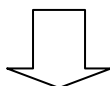
《申し込み手続き》

- ① センターHP <http://www.kansai-kodomo.jp/> 内のお申込みフォームからお申込みください。

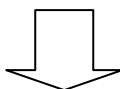
なお、FAX(06-6767-6702)や郵送、Eメール(申込用紙添付)[送信 tanimachiseminar@yahoo.co.jp](mailto:tanimachiseminar@yahoo.co.jp) でのお申込みも可能です。



- ② 下記の銀行口座に受講料をお振込下さい。お振込をもって、(仮)受講受付 となります。



三菱東京 UFJ 銀行
上本町支店 普 1097522
株式会社 カソウ
代表取締役 鍋島 弘美



- ③ 6月30日までにお振り込みいただいた方には、7月3日以降に、受講受付完了のお知らせと会場までの地図をメールにてご連絡いたします。本メールをもって受講受付完了です。
6月30日以降にお振り込みいただいた方にも、順次ご連絡いたします。

※ 一度納入頂きました受講料は、返金いたしかねますので、あらかじめご了承下さい。


定員に達し、受講できない方のみ納入されました受講料は返金させていただきます。

※ 受講票はございませんので、お振込みの控えは、大切に保管のほどをお願いいたします。

※ 日本臨床心理士資格認定協会の研修証明書は、定められた基準に基づいて申請いたします。

※ IT 機器での入力記録、録音、録画は禁止です。

《申し込み・問い合わせ先》

 谷町こどもセンター セミナー係

〒542-0012 大阪市中央区谷町9丁目3-11 東谷町ビル 3F

Tel:06(6767)6701(代) Fax:06(6767)6702

E-mail:tanimachiseminar@yahoo.co.jp (セミナー事務局)

<http://www.kansai-kodomo.jp/>